

旧大志生木小 在籍アーティスト



Kana
現代美術家

長崎県出身。布や糸などの柔らかい素材を使用し、主にウサギなど動物をモチーフにしたソフトスカルプチュア(柔らかい彫刻)を制作。県内各地で展覧会や子ども向けのワークショップを積極的に行う。



のっけむし
イラストレーター

大分県出身。大分県の特徴である温泉やカボス、シタケなどをモチーフにしたゆるいキャラクターのイラストやグッズを制作し、各地で展示・販売。県内各地で展覧会や子ども向けのワークショップを積極的に行う。



Yone (米村 知倫)
イラストレーター、デザイナー

熊本県出身。紙媒体を中心に、広告、挿絵、工作物などを制作。平成30年に大分県で開催された「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」のポスターを手掛ける。



下平 千夏
現代美術家

長野県出身。瀬戸内国際芸術祭2019、2016、六甲ミーツ・アート2013、2010など、国際展に多数参加。2014年台北にてアーティストインレジデンスに参加するなど、国内外で制作・発表を行う。



沖 美紀
ワイヤーアーティスト

大分県出身。ワイヤーのもつしなやかさや力強さに魅かれ制作を始める。ワイヤースカルプチュア(ワイヤー彫刻)の展示・販売など。流木など自然素材とのコラボレートも特徴。ワイヤークラフト教室の講師としても活動中。

☎ 文化国際課 ☎537-5663



子どもアート学校 (佐賀関地区)



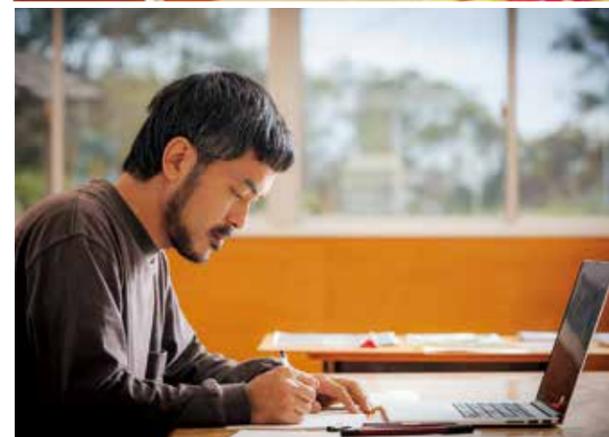
子どもアート学校 (大南地区)

広がるアートのにぎわい

毎回200人以上が訪れる「子どもアート学校」は、大南地区と野津原地区でも開催されており、アートによるにぎわいが広がっています。「日常ではなかなか味わうことのないアートを体験できた」、「自然豊かで気持ちよかったです」と、参加した親子連れから大好評です。広がるアートのにぎわいは人口減少や少子高齢化が進む周辺地域を盛り上げています。今後もアートを活かした地域活性化は進んでいきます。



ART (芸術)
×
REGION (地域)



佐賀関の大志生木小学校は平成28年に閉校しました。そんな中、子どもたちの笑い声を再び地域に“という地元の声から始まったのが「アートレジオン推進事業」です。現在、市内外から集まった5人のアーティストが旧校舎をアトリエとして利用し、創作活動やアートイベントなどを通じて地域と交流しています。教室を活かしたアトリエは「広々していて大きな作品を作れる」と喜ばれています。さらにここでは夏の恒例イベント「子どもアート学校」も開催され、アーティストが先生となって子どもたちにワークショップをしたり、地域の皆さんによる地元製品の販売や旧小学校の歴史展などが行われます。眠っていた校舎を拠点に、地域に新しい風が吹いています。

地域に新しい風

アートで地域ににぎわいを
アートレジオン推進事業

大分市では、周辺地域にアーティストを呼び込み、創作活動や地域と連携したイベントなどを行うことで、地域の活性化を目指す「アートレジオン推進事業」を展開。人口減少や少子高齢化が進む地域に、たくさんの笑顔があふれています。
*アートレジオン：英語のアート(芸術)と仏語のレジオン(地域)の造語